

導入事例
CASE 6



太陽光発電、バイオマスボイラー、電気自動車導入で、島の環境負荷低減に貢献する。

株式会社新洋舎

【事業実施場所】佐渡市畑野 【設立年】1978年（昭和53年）【資本金】1,000万円 【従業員数】25名

【事業内容】リネンサプライ・ドライクリーニング



環境負荷低減と物価高対策として、電気自動車の導入を決断。

新洋舎は「夢ある豊かな島づくりに貢献する」ことを経営理念とし、2015年には「環境自主行動計画」を策定し、事業活動を通じてCO₂排出量削減やリサイクルの推進など環境保全に取り組んできた。太陽光発電設備は2015年に導入済みで、木質バイオマスボイラーも導入するなど積極的に脱炭素への取り組みを推進している。

営業用車両の増車を検討している中、国・県・市からの補助金制度を知り、同社で初めての電気自動車導入を決めた。燃料コスト削減にも大いに期待している。



電気自動車導入によるコスト・CO₂削減を実感。

電気自動車導入によって、燃料費削減、CO₂排出量削減にもつながるなどの効果を実感している。航続距離が短いという懸念があったが、実際に導入した結果、島内の走行には十分であった。今後、さらに既存営業車両を電気自動車に切り替える計画である。

■ 太陽光発電設備（既設）基本情報

設備竣工年	2015年	年間発電量（2023年実績値）	9,587kWh/年
太陽光電池モジュール 設備容量	10kW	パワーコンディショナー 合計出力	10kW

■ 電気自動車 基本情報

導入方式	自己所有	メーカー・車名・型式	日産 サクラ ZAA-B6AW
登録年月	2023年10月	車両本体価格（税抜）	2,317,000円
		補助金額合計	550,000円